



## Macnica Inc

### Company Description

デジタルテクノロジーの進化は、これまでのニーズをより高度に満たすだけでなく、全く新しいニーズが生まれる発想源となり、企業のビジネスモデルを変えていきます。そして新しい市場が生まれ、結果として暮らしや社会も大きく変わります。

例えば自動車業界では、IoT、AIによる自動走行の実現前夜であるとともに、高速で安定したクラウドサービスを利用した車両データの計測・解析や、スマートフォンのアプリケーションを利用したシェアリングサービスの提供も現実的になるなど、デジタルテクノロジーを利用した取り組みが盛んです。

近来、このような背景を受けてあらゆる産業のビジネスモデルは、「ものを作り、販売する」というものから「サービスとして提供する」というものへと変わってきています。消費者の購買活動の変化により、これまでITとは縁遠かった産業も、デジタルにつながっていくのです。私たちは、これまでになかった時代の転換期を体験することになるでしょう。

そうした社会の発展と、企業をつなげるためにマクニカができることは何か。それは革新的なデジタルテクノロジーにいち早く触れ、精通すること。お客様のニーズに合わせて必要なテクノロジーをつなぎ、スピーディーに提供すること。デジタルテクノロジーの活用によるトランスフォーメーションへの「道先案内人」としてお客様に伴走することです。

マクニカは創業以来、世界中の最新テクノロジー・製品に独自の付加価値を与え、国内外のものづくりを支援してきました。国内で初の「技術商社」という新しい概念を作り、お客様の潜在需要をも掘り起こして提案できる「デマンド・クリエーション型企業」として成長しました。

マクニカが成長し、お客様に価値を提供するための大切な基盤は、高い技術提案力に加え独自の社風と社員の情熱にあります。マクニカは過去にとらわれない大胆な挑戦を奨励し、一人ひとりが主役となってビジネスの舵取りを担う、オープンでフラットなベンチャー精神を持っています。時代の転換期だからこそ、我々が持っているベンチャー精神が生きてきます。

デジタルテクノロジーは、お客様の体験そのものを変えていきます。データビジネス、AIという利便性の高い技術が、常識を覆すようなUX（ユーザー体験）を与えるサービスを生み、社会を豊かにしていくシナリオが現実に向かっていきます。マクニカも、これまで提供してきた電子部品やネットワーク機器等の製品やネットワークの「もの」という枠組みを超え、サービスが最終的に提供されるエンドユーザーにまで視野を拡げていきます。そして、お客様の事業の拡大やブランドを強化していくうえで課題の解決や理想的なサービスモデルの創出を前提とした「こと（サービス）」の提案にもより一層力を入れていきます。

デジタルテクノロジーの革新は社会課題を解決する可能性をも秘めています。人と技術と経験をつないで、サービスを提供し、地球の持続的成長の課題も解決していくサービス・ソリューションカンパニーとなること。それがマクニカの描く将来像です。

未来の可能性を信じて挑戦し続け、道先案内人としてお客様に伴走することで、マクニカはお客様と共に新たな未来を切り拓いていきます。

### Company Details

#### Head Office

Japan

#### Main Business

半導体・集積回路などの電子部品の輸出入、販売、開発、加工、電子機器並びにそれらの周辺機器及び付属品の開発、輸出入、販売、その他

#### President

原 一将

#### Established

1972年10月30日

#### Capital

111億9,426万8千円（2025年3月31日現在）

#### Number of Employees

Over 1,000

**URL**

<https://www.macnica.co.jp/company/overview/>

---

**Offices**

---

**Main Office**

1-6-3 Shin-Yokohama, Yokohama-shi Kohoku-ku  
Kanagawa, Japan, 2228561

---